

日本語パートナーズ派遣 （大学連携インターン）

担当：日本語パートナーズ事業部 事業第 2 チーム

◆ 概要

アジアの教育機関における日本語教育の支援及び現地の人々との交流／相互理解の促進・深化を目的として、日本国内の大学で日本語教育を専攻する学生を日本語パートナーズ（大学連携インターン）として派遣します。

◆ 申請資格

日本語教師養成課程を有する日本国内の大学・大学院・短期大学（以下「連携大学」）

◆ 派遣地域

インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、東ティモール、中国、台湾、モンゴル、インド

◆ 派遣期間

2026 年 6 月 1 日以降に出発し、2027 年 3 月 31 日までに帰国する、1 週間以上の期間

◆ 被派遣者

連携大学において、日本語教師養成課程若しくはそれに準ずる課程に所属する正規の学生であり、日本語母語話者または日本語母語話者相当の日本語能力を有する者

◆ 実施方法

JF と連携大学の間で申請内容に基づき合意書を締結し、事業を実施します。



◆ 支給内容

JF は共催分担金として以下の経費を支給します。

- ・ 往復航空券代（往復運賃、空港税、空港使用料、燃油サーチャージ等）
- ・ 住居費（180 日分を上限とします）
- ・ 海外旅行傷害保険料（180 日分を上限とします）

※ 上記項目は、JF の定める上限額の範囲内で支給します。

※ 原則として食事代は支給しません。

※ 当該派遣に国や、国の他の関連機関からの奨学金、助成金の併用は認められません。

◆ 選考方針

以下のような観点から審査のうえ、採否を決定します。

- 1 連携大学における日本語教師養成課程及び本プログラムの位置付け・内容
- 2 連携大学及び受入機関における参加学生への指導体制
- 3 連携大学と受入機関との協力体制及び安全管理体制
- 4 期待される具体的成果
- 5 申請者側（大学及び参加学生等）による一定程度の自己負担を含む適切な予算計画
- 6 事業実施計画
- 7 当該事業を JF が支援する必要性

◆ 採用実績（参考）

採用 34 大学 274 名（2025 年度日本語パートナーズ派遣プログラム（大学連携インターン））

◆ 申請締切

2025 年 12 月 2 日 13 時（メール必着）

◆ 結果通知

2026 年 4 月中



◆ 応募にあたっての留意事項

全プログラム共通の申請手続や注意事項については JF ウェブサイトに記載しています。ご応募の際にご一読ください。

JF ウェブサイト：[国際交流基金 - 申請手続、申請資格、注意事項](#)

